

JOYO BANK NEWS LETTER

2025 年 12 月 16 日

「地域産業の成長支援」と「100 億円企業創出」に向けた取り組み ～中小企業庁主催「100 億円企業創出経営者ネットワーク in 茨城」への協力～

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、第 4 次グループ中期経営計画に掲げる最重要課題（マテリアリティ）「地域産業の成長支援」に取り組んでおり、その一環として、2025 年 12 月 5 日（金）に開催された中小企業庁主催の「100 億円企業創出経営者ネットワーク in 茨城」に参加し、パネルディスカッションへの登壇やグループディスカッションのファシリテーター役を務めるなど、協力いたしました。

当行では、売上高 100 億円を目指す意欲的な成長企業に対して、生産性向上を目的とした公的支援制度の活用やバリューチェーン強化に向けた支援など、さまざまな取り組みを行っております（詳細は後述の＜当行の 100 億円企業創出に向けた伴走支援＞をご参照ください）。

当行は、今後も地域経済の活性化および中長期的な企業価値の向上に貢献してまいります。

1. 本件概要

名 称	100 億円企業創出経営者ネットワーク in 茨城
主 催	中小企業庁
日 時	2025 年 12 月 5 日（金） 14 時 30 分～18 時 00 分
参加者	約 90 名（地域企業の経営者等、金融機関などの支援機関）
内 容	講演「中小企業政策の方向性」 中小企業庁 経営支援部長 山崎 琢矢氏 パネルディスカッション 経営者同士のグループディスカッション など

2. 当行の協力内容

（1）パネルディスカッションへの登壇

当行の行員が登壇し、これまでに支援した事例を基に「地域企業が直面する経営課題」やその対応策、持続的な企業価値向上に向けて取り組むべき財務・非財務のポイント、当行として地域企業に期待することなどを紹介しました。

また、他のパネリストとのディスカッションを通じて、参加企業が今後取り組むべきアクションなどについても提案しました。

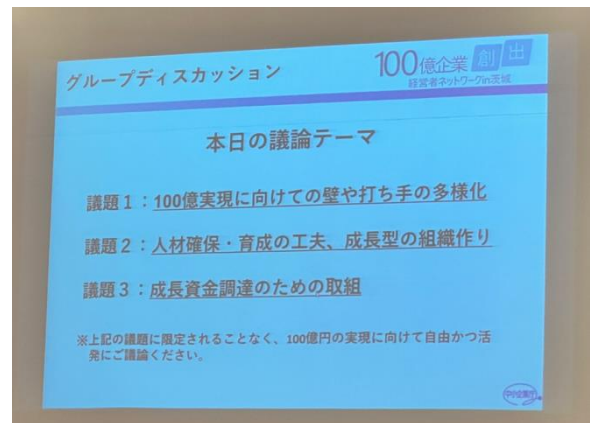
（2）グループディスカッションへの参加（ファシリテーター）

当行の行員がファシリテーターを務め、参加された経営者の皆さまとともに、①100 億円実現に向けての壁や打ち手の多様化、②人材確保・育成の工夫や成長型の組織作り、③成長資金調達のための取り組みについて議論しました。その議論においては、共通する経営課題について具体的な対応策を提案するなど、活発な意見交換が行われました。

＜パネルディスカッションの様子＞



＜グループディスカッションの様子＞



(参考)

＜当行による 100 億円企業創出に向けた伴走支援＞

～生産性向上を目的とした公的支援制度の活用～

- ・ 中小企業経営強化税制（国）、地域未来投資促進税制（県）、生産性向上特別措置法（市）などの税制優遇活用支援
- ・ 中堅・中小成長投資補助金、中小企業成長加速化補助金、新事業進出補助金、中小企業省力化投資補助金、ものづくり補助金などの補助金申請・活用支援
- ・ 上記の税制や補助金活用に向けた事業計画策定や IT・デジタル化、人材採用・育成等の支援

～バリューチェーン強化に向けた支援～

- ・ 販路拡大/協会社紹介などのビジネスマッチング
- ・ 事業領域拡大/付加価値向上に向けたM&A、アライアンス
- ・ 新事業開発/技術補完などを目的としたスタートアップ企業との連携支援

以 上